

令和3年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部
第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

問1 下線部①について、あなたが特別支援学校の教師であるとしたら、特別支援学校で学ぶ子どもの災害対応能力を高めるため、どのような教育活動を設定するか、具体例を挙げて、考え方・理由を含めて、1000字以上、1200字以内で記述せよ。その際、災害、特別支援学校の教育の対象とする障害種別、教育活動を設定する子どもの年齢等は自由に設定して構わないが、文中にそれらの情報を明示すること。

【出題の意図】

児童生徒の災害対応能力を育むためには、地域で起こりやすい災害や地域における過去の災害について理解し、安全な行動をとるための判断に生かすことができる等（知識、思考・判断）、災害時における危険を認識し日常的な訓練等を生かして、自らの安全を確保することができる等（危険予測・主体的な行動）、自他の生命を尊重し、災害時及び発生後に、他の人や集団、地域の安全に役立つことができる等（社会貢献、支援者の基盤）を指導することが求められている（「学校防災のための参考資料 『生きる力』を育む防災教育の展開」文部科学省、平成25年 参照）。

受験者には、著者の考えをヒントにして、特別支援学校の教師の立場を想像しながら、そこで学ぶ子どもの災害対応能力を高める具体的な教育活動を考えてほしい（課題解決能力）。また、災害、障害、発達段階を想定し、教育活動を設定する理由や枠組みとして「知識、思考・判断」「危険予測・主体的な行動」「社会貢献、支援者の基盤」の何れかを挙げて述べてほしい（思考力、論理的な表現力）。

令和3年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜(Ⅱ型)
教育学部
第一類(学校教育系) 特別支援教育教員養成コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

問2 下線部②の考え方を参考にして、特別支援学校が地域を巻き込んだ防災教育をするためのアイデアを、700字以上、800字以内で記述せよ。なお、記述にあたり、「共助」という観点を盛り込むこと。

【出題の意図】

防災の考え方として、「自助」・「共助」・「公助」があると言われている。「共助」とは、地域の防災や災害時の助け合いの重要性を理解し、他の人と関わり、協力して活動することだと考えられる。「共助」を実現していくためには、自他の生命を尊重し、災害時及び発生後に、他の人や地域に役立つようとする社会貢献の意欲を育むことが大切だと考えられる。

受験者には、著者の考えをヒントにして(思考力)、「共助」の観点から、特別支援学校が地域との関わりを深め、地域と協力して防災教育をするためのアイデアを述べてほしい(課題解決能力、論理的な表現力)。